

みちの歩き方
路上の観察者たち

How do the observers walk
on the street?



赤瀬川原平《トマソン黙示録 風のレコード》1988年、オフセット、大分市美術館蔵
Thomasson Apocalypse: A Record of the Winds

野村美太郎
安部沙保里
赤瀬川原平

1. 展覧会名 みちの歩き方一路上の観察者たち
2. 会 期 令和4(2022)年6月3日(金)～7月3日(日)
休館日 6月13日(月)、6月20日(月)、6月27日(月)
公開日数 28日間
3. 会 場 大分市美術館 企画展示室
4. 主 催 大分市美術館
5. 後 援 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム、NOAS FM、ゆふいんラヂオ局
6. 協 力 大分県立芸術文化短期大学、大分路上観察学会
7. 観 覧 料 一般 600 (500) 円、高校生・大学生 400 (300) 円、中学生以下無料
※ () 内は、20人以上の団体料金です。
※上記観覧料でコレクション展も併せて観覧できます。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳提示者とその介護者は無料です。
※本展は「大分市美術館年間パスポート」が利用できます。

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835

大分市大字上野 865 番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800 FAX 097-554-5811
後小路(うしろしょうじ)

展示概要

本展覧会は、みちを歩き、そこで心惹かれるものを見つけ出し、作品を制作する作家たちを紹介します。

当館の所蔵作家である赤瀬川原平は、散歩に出かけては路上を観察し、「胸騒ぎ」を覚えるものを撮影、報告します（そのひとつが”トマソン”です）。赤瀬川の多様な活動の根底には、このように見慣れた光景をよくみて面白さを見出す視点があります。今回紹介する作家たちも、同様にみちを歩き、よくみることから作品制作をはじめ「路上の観察者」です。しかし、そこで切り取るものも、表現の仕方もそれぞれ異なっています。

本展を通して、それぞれのアーティストたちによるユニークな「みちの歩き方」をお楽しみいただき、見慣れたみちに潜む面白さや美しさを再発見いただければ幸いです。

※トマソン…トマソンとは、赤瀬川らが定義した概念で、「不動産に付着していて美しく保存されている無用の長物」を指します。例えば、トマソン1号である「四谷階段」は、登って降りるだけの目的地のない階段です。

展示のみどころ

コレクションと現代作家を一緒に紹介！

当館には、赤瀬川原平の「トマソン黙示録」というシリーズ作品が所蔵されています。本作は、赤瀬川が路上を観察する中で見つけた光景がもとになっています。路上を歩き、観察し、普段は見落とされてしまうようなものを、あえて見つめるという姿勢は、時代を超えて、今展出品の現代作家たちにも共通しています。今展では、そのような現代作家たちの作品をコレクションである「トマソン黙示録」シリーズとあわせて紹介することで、コレクションの魅力を再発見、そして若手作家の作品の魅力を発見する機会になれば幸いです。

出品作家

赤瀬川原平 AKASEGAWA Genpei



赤瀬川原平《トマソン黙示録 真空の踊り場・四谷階段》
1988年、オフセット、大分市美術館蔵
Thomasson Apocalypse:An Empty Hall Leading to and from Yotsuya Steps



赤瀬川原平《トマソン黙示録 干渉縞》
1988年、オフセット、大分市美術館蔵
Thomasson Apocalypse:3p.m.When the Shadow Crosses the Border

1937年、神奈川県生まれ。現代美術家。2014年没。

1941年に、大分市へ転居。1950年頃から、新世紀群に参加し、吉村益信らと交流を始める。1952年、愛知県立旭ヶ丘高校美術科へ転入。1955年、現在の武蔵野美術大学に入学し、読売アンデパンダン展等に出品する。1960年、吉村の誘いで、ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズに参加し奇抜なイベントや、実験的なオブジェ制作を行った。1963年、ハイレッド・センターを結成し、コンセプチュアルな活動を展開。1966年、千円札の拡大図、梱包作品を展覧会出品したことにより、千円札の模造が違法性を問われ、法廷の場で芸術論を展開する「千円札裁判」が起こる。このような1960年代の「反芸術」の時代を経た、1972年、超芸術トマソンの第1号となる「純粹階段」を発見。自ら制作するよりも、見ることに軸足を移していった。

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835

大分市大字上野 865 番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800 FAX 097-554-5811
後小路（うしろしょうじ）

安部沙保里 ABE Saori



《汚濁は汚濁、それは美と美》
油彩・キャンバス、2015年

1987年、大分県生まれ。大分市在住。洋画家。
別府大学文学部芸術文化学科国際言語・文化学科
絵画表現コース研究生課程修了(2013年)。散歩し
ながら心惹かれる風景を写真に撮影し、それをも
とに油絵を描く。抽象化された風景は、それを見つ
けた際よろこびも含めて表現するかのよう、
きらきらとした輝きを放つ。

主な展示 ▶ 個展 美しい世界を知っている(アートプラザ、2014) / 個展 色彩との出逢い(東京 秋山画廊) / 上野の森美術館大賞展 入選 ほか

牛島光太郎 USHIJIMA Koutarou



《意図的な偶然-5》
ブラウス、路上で拾ったボタン、布に刺繍、2008年

1978年、福岡県生まれ。愛媛県在住。現代美術家。
関西の美術大学大学院修了(2003年)。
路上や海辺で偶然拾った「もの」と、刺繍で綴った「こ
とば」を組み合わせ、インスタレーション作品を制作。
何の変哲もない「もの」の周囲にも、誰かの小さくも大
切な物語があることを想像させる。

主な展示 ▶ intentional accident / 意図的な偶然(三菱地所アルティアム、福岡、2010) / 竹田アートカルチャー2018(竹田市内各所、2018) / モノの居場所に言葉をおいたら、知らない場所までとんでいく(3331 Arts Chiyoda、東京、2019) ほか

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835

大分市大字上野865番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800 FAX 097-554-5811
後小路(うしろしょうじ)

野村菜美 NOMURA Nami



《distant landscape》

インクジェット、シルクスクリーン、2020年

1988年、長崎県生まれ。大分市在住。グラフィックアーティスト。

大分県立芸術文化短期大学専攻科造形専攻修了（2011年）、大分大学大学院教育学研究科修了（2016年）。散歩したり乗り物で移動したりする中で、気になる風景を写真に撮影し、版画化する。ざらざらとした独自の質感を付与された光景は、作家の瞼の裏に残る残像としての景色であり、鑑賞者をそこへ行ったことがあるかのような気持ちにさせる。

主な展示 ▶ ideal Selection（アートプラザ、2014）/ ideal Picture 2016〔0と1と〕（大分市美術館、2016）/ 版画交流展 vol.2（画廊るたん、東京、2017）ほか

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835

大分市大字上野 865 番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800 FAX 097-554-5811
後小路（うしろしょうじ）

関連イベント

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等のため、関連イベントを中止する場合があります。最新情報は大分市美術館ホームページをご確認ください。

安部沙保里ワークショップ

「自由にわくわく、ドローイング！」

日時：6月19日（日）午後2時～午後4時

場所：大分市美術館研修室、企画展示室

内容：安部沙保里さんによる自作についての解説後、安部さんと一緒にお気に入りの写真を見ながら、折り紙や水彩絵の具、墨汁、ペンなどを用いてドローイングします。

参加費：未使用の本展観覧券または年間パスポート

準備物：お気に入りの風景などの写真をA4程度の紙に印刷したもの（スマートフォンでお持ちいただくことも可）

定員：10人

応募期間：6月1日～（定員に達し次第終了）

応募方法：電話（097-554-5800）、またはメール（件名「安部沙保里ワークショップ応募」、artsinkou@city.oita.oita.jp宛）にて下記事項をお知らせください。

野村菜美ワークショップ

「大分路上観察学会ふれぜんつ トマソン探偵団”きれいなまちの美しいよごれ”編」

日時：6月25日（土）午後1時～午後4時30分

場所：大分市美術館に集合し、大分市内にマイクロバスでかけます

内容：野村菜美さんによる作品解説の後、大分路上観察学会のメンバーの案内で大分市中心部のトマソンを鑑賞、路上観察しつつまちを歩きます。その後、撮影した写真の鑑賞会を行います。

参加費：未使用の本展観覧券または年間パスポート

定員：10人

準備物：デジタルカメラ（スマートフォンも可）、歩きやすい靴、服装でお越しください。

応募期間：6月15日まで ※抽選

応募方法：はがき、またはメール（件名「野村菜美ワークショップ応募」、artsinkou@city.oita.oita.jp宛）にて下記事項をお知らせください。

※野村さんのワークショップの前（6月18日（予定））に、野村さんが非常勤講師を務める大分県立芸術文化短期大学の学生たちと同じ内容でワークショップを行います。詳細については未定ですのでお問い合わせください

①応募するワークショップ名②参加者全員の氏名（よみがな）③代表者の電話番号④参加者全員の年齢または学年（※小学生以下は保護者同伴）⑤実際に参加する人数

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835

大分市大字上野865番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800 FAX 097-554-5811
後小路（うしろしょうじ）

牛島光太郎ワークショップ

「さがしてみるとみかたがかわる」

日時：6月26日（日）午後2時～午後4時

場所：大分市美術館企画展示室 他

内容：牛島光太郎さんによる作品解説の後、美術館周辺を歩いて新しい「みちの歩き方」を体験します。

参加費：200円（材料費）と未使用の本展観覧券または年間パスポート

定員：15人

応募期間：6月15日まで ※抽選

応募方法：はがき、またはメール（件名「牛島光太郎ワークショップ応募」、artsinkou@city.oita.oita.jp 宛）にて下記事項をお知らせください。

- | |
|---|
| ①応募するワークショップ名②参加者全員の氏名（よみがな）③代表者の電話番号④参加者全員の年齢または学年（※小学生以下は保護者同伴）⑤実際に参加する人数 |
|---|

本資料に関するお問い合わせ

〒870-0835

大分市大字上野 865 番地 大分市美術館
TEL 097-554-5800 FAX 097-554-5811
後小路（うしろしょうじ）